



博士課程 受験者用	専攻する研究分野	受験番号	氏名
-----------	----------	------	----

<p>問題</p> <p>以下に挙げる①～④②の中から4つを選び、右側の解答欄に説明を記述すること。 (解答は、解答欄に収めること。裏面等の使用は不可。)</p> <p>①化学反応における立体選択性と立体特異性 ②多段階合成における直線型合成と収束型合成 ③誘起効果と共鳴効果 ④芳香族求電子置換反応と芳香族求核置換反応 ⑤タンパク質分解誘導キメラ分子 ⑥N-結合型糖鎖 ⑦Native Chemical Ligation ⑧ペプチド固相反応の液相法と比較しての利点と最近の進歩 ⑨グリコシル化反応における溶媒効果 ⑩Endo-β-N-acetylglucosaminidase ⑪S_N1 反応と S_N2 反応 ⑫カルボカチオンの安定性と置換基の効果 ⑬Friedel-Crafts アルキル化の問題点 ⑭創薬研究における不斉合成法の重要性 ⑮天然物全合成の意義 ⑯液体クロマトグラフィータンデム質量分析計 (LC-MS/MS) ⑰分析法バリデーションの分析パラメーター ⑱真核生物と原核生物の違い ⑲二次元核磁気共鳴スペクトル (2D-NMR) の HMQC および HMBC データから得られる情報 ⑳植物内生菌 ㉑細菌を分類するための方法 ㉒生成 AI ㉓抗体薬物複合体 (ADC) ㉔プログラム医療機器 (SaMD) ㉕ウェルビーイング (Well-being) ㉖コンパニオン診断 ㉗ユビキチン・プロテアソーム系 ㉘標的タンパク質分解法を利用した創薬 ㉙ユビキチンコードに関わる E3 または DUB の作用機序 ㉚非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID) と医療用麻薬の作用発現機序 ㉛痛みのコントロールによるがん病態に及ぼす影響 ㉜EGFR-チロシンキナーゼ阻害薬による耐性獲得機序 ㉝三環系抗うつ薬と選択的セロトニン再取り込み阻害薬の薬理的違い ㉞認知症の分類とその進行過程 ㉟生活習慣病 ㊱インスリン抵抗性と肥満 ㊲成長因子と血管障害 ㊳紫外線によるメラニン産生機構 ㊴細胞外小胞 ㊵腸内細菌と疾患 ㊶抗がん作用の副作用対策 ㊷がん患者におけるサルコペニア</p>	<p>解答 1</p> <p>博士</p> <p>選択した番号とタイトルを右欄に記載すること</p>		
	<p>解答 2</p> <p>博士</p> <p>選択した番号とタイトルを右欄に記載すること</p>		
	<p>解答 3</p> <p>博士</p> <p>選択した番号とタイトルを右欄に記載すること</p>		
	<p>解答 4</p> <p>博士</p> <p>選択した番号とタイトルを右欄に記載すること</p>		